令和６年度　帯広百年記念館運営審議会会議録（抄）

開催日時：令和６年７月１０日（水）　14 時～15 時 30 分

会議次第

１　生涯学習部長挨拶

２　開　　会

３　報 告 事 項

（1）令和５年度帯広百年記念館運営審議会開催状況

４　議　　事

（1）　令和５年度主要事業実施状況等について

（2）　令和６年度主要事業計画等について

５　そ の 他

６　閉　　会

報告(1)令和 5 年度帯広百年記念館運営審議会の開催状況

【事務局より説明】

質問、意見等特になし

議事(1)令和 5 年度主要事業実施状況等について

【事務局より説明】

委員　　8 ページの「博物館資料収集実績」の「自然科学資料」にある、「植物・動物」の収集１点はどのようなものか。また、収集について方針があるか。

事務局　　収集１点については、確認してから後日お伝えする。方針については、現在収蔵スペースが狭小なためスペースの確保が困難。このため限られたスペースを利用するために十勝ゆかりのもの、価値の高いものを優先して収集している。

委員　　現状収集も収蔵スペースの関係で大変だと思うが、十勝の貴重な資料をできるだけ収集願う。

委員　　18 ページの学芸員は、どんな活動をしてどのような普及をしているのか。

事務局　　毎年３月に行う講座に「学芸員のしごと」というものがあり、学芸活動報告会を行っている。この時に学芸職は 5～10 分程度それぞれの活動報告をわかりやすく説明。企画展でも研究の発表を行っている。

委員　　学芸員は忙しいのだから、周囲が協力し研究をしっかり行える環境を整えてあげてほしい。サポート体制をしっかりするよう管理職は考えて

ほしい。

委員　　貴重な資料は地域の人にとっても大切なものなのでしっかりと収集してほしい。

委員　　21 ページの連絡協議会主催の移動展について人数の記載がないが、集計は難しいのか。

事務局　　会場により集計できるところと、そうでないところがあり、各自治体には集計をお願いしているが難しいところもある。

委員　　16 ページの「管外修学旅行生　常設展示室見学者数」の令和 5 年度の来校数と内訳があっていないが、どちらが正しいのか。

事務局　　確認し、後日報告する。

委員　　15 ページの「常設展示室入場者数」を見る限りコロナ前に戻りつつあると思うが、さらに来館者を伸ばすための取り組みは考えているのか。

事務局　　特にこれでということはないが、コロナ前の事業規模に今年度は戻していくが、今後は新たな取り組みも検討していく。

委員　　JICA 研修員や若い人達により多く来館してもらう努力も必要ではないか。そういう方法も検討してほしい。

委員　　今後は色々な分野、世代にアピールが必要だと思う。

議事(2)令和 6 年度主要事業計画等について

【事務局より説明】

委員　　23 ページの中に「博物館におけるボランティア活動の推進」とあるが、自分もボランティアしているが、コロナ禍で全くなくなった。今後もない状況なのか。

事務局　　現在説明、解説等行う団体の人数を 15 名程度の方たちと絞っている。この程度の人数が説明しやすく適していると判断している。学校や、大人数の団体に対してはワークシートの利用をお願いしているが、団体の見学が回復傾向にあり、解説の希望もあることから、今後は以前と同じようにボランティアの方にお願いする機会が増えると思うので、よろしくお願いしたい。

委員　　22 ページにある企画展の実績の 32 番にある「発掘された日本列島 2007」は文化庁と共催で行われている。評判も良くとても良い企画であった。また、ぜひ文化庁との共催をしてほしい。

事務局　　文化庁との共催はすぐにできるわけではないが、チャンスがあれば再度開催したいと考えている。

委員　　26 ページの令和 6 年度特別企画展「アイヌ工芸品展」で主催がアイヌ

民族文化財団と、記念館、徳島県立博物館とあるが徳島があるのは姉妹都市だからか。

事務局　　アイヌ民族文化財団が主管する企画で、例年道内１館、道外１館と組みになり行っているもの。今回の工芸品展に「靭皮」を用いて作られた衣服などを紹介することになるが、徳島にも「靭皮」を使う衣服があるので徳島と関わることになった。

委員　　郷土学習や、教員のための講座など百年記念館の今後の継続と発展を要望する。

委員　　オンラインの取り組みが学校現場でも盛んにおこなわれている。鑑賞しながら学芸員の説明など現在美術館でも行っている取り組みを記念館でも行ってほしい。

委員　　タブレットを使いこなすのは当たり前となっているので、タブレットを利用するなど今にあったやり方が必要と思う。

委員　　議事とは関係ないが、運営審議委員の名札に肩書等を入れてほしい。誰がどの団体に所属しているのかわからず、どの立場で発言しているのか知りたい。

委員　　学芸員の紹介などをホームページに載せてもっと記念館を PR してはどうか。帯広市規模の博物館のホームページにはどこもそのような紹介があると思うが。

議事(3)その他

委員　　報道などで知ったが八千代 C 遺跡の要望があったと思うが、今後どのように進めていく予定なのか。

事務局　　議会で発掘等についての陳情が採択されたところ。試掘に向け今年度、調査を行う。試掘を行うとなれば来年度以降となる。

委員　　道と連携して行う予定なのか。

事務局　　道と連携して行う予定は今のところない。市単独の予定。

委員長　　ほかに質問・意見が無いようなので、本日の会議は終了とする。